

ビジネスアイデアの概要

コンブの国内生産量の約9割を北海道が占めている中、その内の約3割が北海道南部で養殖される。しかしながら、養殖コンブは収穫時に出る大量の仮根部“ガニアシ”の処理が課題となっている。例えば、函館市ではガニアシの廃棄処理費用に毎年2000万円ほどが計上されている。
この課題を解決するために、ガニアシから反芻家畜の疾病に効く薬を製造する技術の事業化を目指す。

ビジネスアイデアを事業化するための課題

- ・現在の薬との比較（価格・効果）
- ・動物実験の実施
- ・ガニアシの長期保存方法の確立
- ・漁協や既得権益者との連携
- ・廃棄物を取り扱う許認可等の取得

事業化の見通し

- ・疾病に対し*In vitro*試験では一定の有効性を確認した。
- ・プロトタイプを与えた羊肉が学校給食で提供され、無事に消費者へ届けることができた。
- ・ファーストカスタマーをすでに獲得している。

今後は動物実験により技術シーズをしっかりと固め、特許戦略も考えていく。事業化のための大量生産方法について検証する。ガニアシに困る自治体との連携を強め、立ち上げスキームや事業オペレーションを作っていく。

事業者情報

辻井豪佑

- ・北海道大学 水産科学院 修士2年
- ・水産資源開発工学講座

宮崎修哉

- ・北海道大学 水産学部 4年
- ・資源機能科学科

ビジネスアイデア概要図等

これまでの取り組み



ガニアシ



プロトタイプ



実証実験



給食での提供